

Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

この件のお問い合わせは広報課へ
TEL : 092-606-0607
MAIL : kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2024・187
11月25日～12月12日

情報システム工学科 徳安達士教授が協力する 大分大学医学部の文部科学省・高度医療人材養成拠点 形成事業がスタートしました

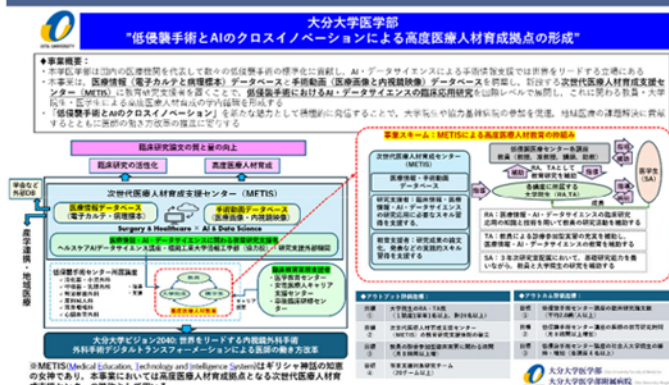
本学情報工学科と大分大学医学部は2020年8月に大学間包括連携協定を締結しました。この度、大分大学医学部が申請した「低侵襲手術とAIのクロスイノベーションによる高度医療人材養成拠点の形成」事業（総事業費2億2000万円/6年間）が文部科学省・高度医療人材養成拠点形成事業に採択され、11月20日に大分大学狭間キャンパス内でキックオフミーティングが開催されました。福岡工業大学は協力校として参画し、情報システム工学科の徳安教授がコアメンバーとして事業推進に協力します。

本事業の代表者である猪股雅史医学部長は、「我が国の課題である医師の働き方改革に伴う研究・教育時間の低下に対し、大分大学の強みである低侵襲手術とAI・データサイエンスのクロスイノベーションによって、新たな研究領域と教育効果を創出し、医療に新しい付加価値をもたらしたい」と抱負を述べています。

徳安教授は2017年度から昨年度にかけて、大分大学医学部およびオリンパス株式会社と共同でAIを用いた内視鏡外科手術支援に関する共同研究に取り組んでおり、本事業においてもその豊富なAI開発技術を発展的に利活用します。特に消化器・小児外科学講座を中心に、腎泌尿器外科、産科婦人科、呼吸器・乳腺外科、整形外科などの診療における低侵襲治療（内視鏡/ロボット手術に関するデジタル医療）×AI・データサイエンスによる革新的な医療DXの推進を目指しています。現在、徳安研究室に所属する大学院生・学部生たちは、各診療講座の医師らと連携し、医工連携人材としての道を歩み始めています。



事業コアメンバー 下段左から：小林隆志教授（大分大 副学部長：研究担当）、下村剛教授（同 医療情報部長）、猪股雅史教授（同 医学部長）
上村尚人教授（大分大 総務・教育担当）、徳安達士教授（福岡工業大）



会議中の様子